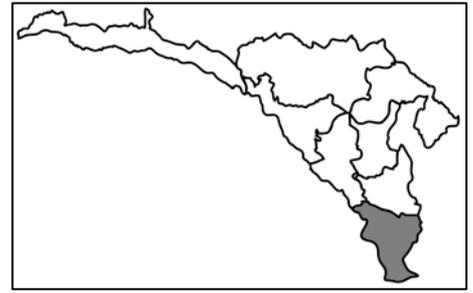


～南町田地域～

◇町目構成◇

つくし野、南つくし野、鶴間、小川、
金森（金森1丁目を除く）



南町田地域は町田市南部に位置し、横浜市や大和市、相模原市に隣接する地域です。町田街道を中心に平坦な台地が広がり、境川周辺に沿って低地が続き、一部に農地が残ります。町田街道の東側は、起伏の豊かな丘陵地になっています。

東急田園都市線の開通に伴い、町田街道の東側では面的な住宅地が形成されています。また南側には、国道246号線や国道16号線、東名高速道路の横浜町田インターチェンジなどがあり、交通の結節点であると同時に、工業施設や商業施設、倉庫などが立地するまち並みが見られます。しかし近年では、集合住宅等が建設され、工業施設等と混在したまち並みが形成されています。

①景観づくりのテーマ

1) 自然や住宅地の多様な特性に応じたまち並みづくり

つくし野など面的に整備された良好な住宅地のまち並みや、境川沿いの住宅地では、水と緑豊かな自然環境に調和した魅力的な住宅地のまち並みづくりを進めます。

2) 市南部の玄関口にふさわしい景観づくり

南町田駅周辺には、主要な幹線道路が存在し、他の地域からも多くの人が集まる商業施設が立地する特性をふまえ、産業や物流などの機能を維持しながら、境川や鶴間公園など自然的な要素を生かし、市民の交流の拠点となる市南部の玄関口にふさわしい景観づくりを進めます。

②景観づくりの作法

<地形>

◇高低差のある地形がつくる眺め

起伏の豊かな町田街道の東側の丘陵地では、谷間を挟んで住宅地が向かい合う様子や高低差のある地形を貫く並木道など、複雑な地形による変化に富んだ景観が見られます。

谷間を挟んで住宅地が向かい合う様子や高低差のある地形を貫く並木道など、丘陵地の特徴的な眺望に配慮し、その眺めを多くの人が共有できる景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

見通しの良い坂道・階段／境川沿い などからの眺望



つくし野パークロード

<農や緑>

◇地域のシンボルとなるまとまりのある緑

金森山市民の森や金森天神山市民の森、みずき山市民の森など、各所に「市民の森」として親しまれている小さな森が残されており、周辺のまち並みに落ち着きやうるおいをもたらしています。鶴間公園、つくし野セントラルパークは、地域のシンボルとなる公園として市民に親しまれています。大きく育った樹林と芝生などで構成され、心地よい空間です。

まとまりのある緑は、地域のシンボルとして維持・保全します。まとまりのある緑の周辺では、積極的に生垣や敷地内の緑化を行うなど、樹種等にも配慮しながらまとまりのある緑と一体となった緑の景観拠点をつくります。

◆配慮すべき景観要素◆

金森山市民の森／金森天神山市民の森／みずき山市民の森／
鶴間公園／つくし野セントラルパークなど



鶴間公園

<まち並み>

◇成熟した閑静な住宅地

東急田園都市線つくし野駅やすずかけ台駅の西側には、ゆとりのある敷地の閑静な住宅街が広がります。起伏に富んだ地形に沿って建ち並ぶ住宅地では、高低差によって変化のある景観が見られます。開発から時間を経て大きく育った並木が、この地域の住宅地の大きな財産となっています。建築協約など、独自のまちづくりのルールが定められている地域が多く、良好なまち並み景観が維持されています。一部の住宅地では、傾斜地のため宅地の造成等に伴って道路に面して高い擁壁ようへいがつくられている所も見られます。

つくし野や南つくし野などの面的に一体となって開発された住宅地では、地域のルールを守るとともに、元の地形を生かし周辺と調和した良好な住宅地のまち並み景観を維持します。

◆配慮すべき景観要素◆

つくし野、南つくし野の住宅地など

◇つくし野駅やすずかけ台駅周辺の生活感のある景観

つくし野駅やすずかけ台駅周辺では、住宅地の整備とあわせて、日常生活に対応した商業施設などが建ち並んでいます。それらは、周辺の住宅地と調和し生活感のある雰囲気をつくり出しています。

つくし野駅やすずかけ台駅の周辺では、うるおいのある住宅地に十分配慮し、住宅地の景観と調和し、商業と生活が共存するまち並みをつくります。

◆配慮すべき景観要素◆

つくし野駅、すずかけ台駅周辺

◇農地や樹林が残り田園風景が見られる住宅地

杉山神社から金森天神山市民の森にかけての境川周辺は、住宅地の中に多くの農地や樹林が残り、田園風景が見られます。

周辺に農地や樹林の残る地域では、緑の連続性に配慮し、積極的な緑化や緑が映えるような色彩を用いるなど、自然資源と調和したまち並みづくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

境川周辺の住宅地

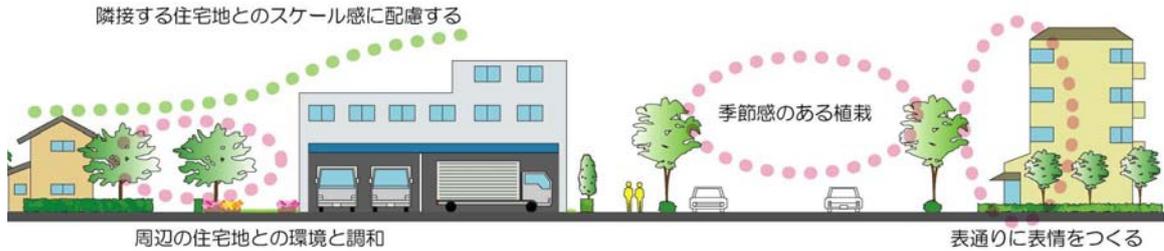
◇工業施設等の多いまち並み

町田街道周辺及び国道16号線の北側の鶴間地域には、物流施設や工業系の施設が多く立地しています。近年は集合住宅等が建設され、工業施設等と混在したまち並みが形成されています。

工場や倉庫、事業所や商業施設など、多様な施設が立地する鶴間地域では、周辺の住宅地の環境に配慮し、敷地内の緑化や隣り合う建築物等に対して違和感、圧迫感のないよう配慮し、住宅地と工業施設等が快適に共存できるまち並みをつくります。

◆配慮すべき景観要素◆

鶴間地域の住宅地など



<河川・水辺>

◇開放感のある境川沿いの景観

境川沿いでは、川の流れて沿って開放感のある景観が広がります。河川沿いには自転車歩行者専用道路が整備され、川の流れて楽しみながらジョギングやウォーキングを楽しむ人も多く、市民の憩いの空間となっています。河川沿いには、市民の活動によって、河川の景観を楽しめる魅力的な空間が創出されています。

開放感のある河川景観を維持し、河川沿いに景観を楽しめる空間を積極的に創出するなど、河川と一体となった景観づくりを行います。



境川沿い

◆配慮すべき景観要素◆

境川周辺

<沿道>

◇主要な幹線道路が存在する市南部の玄関口

地域南部には、東名高速道路横浜町田インターチェンジがあり、国道246号線、国道16号線が交わる交通の結節点となっています。また、地域の中央には町田街道があり、沿道には商業施設などが建ち並ぶ多様な景観が見られます。

主要な通りでは、通りの連続性に配慮し、歩行者に配慮した沿道景観をつくります。また沿道の景観と、隣接する住宅地の景観との調和に配慮します。

◆配慮すべき景観要素◆

町田街道／国道246号線／国道16号線沿道

<にぎわい>

◇南町田駅周辺のにぎわい景観

南町田駅周辺には、複数の大型商業施設が立地しています。市の内外を問わず広い地域から利用客が訪れ、にぎわいを見せています。商業施設の周辺は、住宅地として整備が進みつつあります。

来街者が、歩きながら駅周辺の商業施設や公園の景観を楽しむことができるように、回遊性と連続性のある空間をつくります。

◆配慮すべき景観要素◆

南町田駅周辺

<歴史・文化>

◇寺社と一体となった周辺の緑

熊野神社、杉山神社、円成寺など、地域の歴史・文化を物語る景観が見られます。それらの寺社と、周辺の緑が一体となった景観が見られます。また、明治時代に相模川から横浜へ水を引くためにつくられた水道が元になっている、横浜水道道路があります。

地域の歴史・文化を物語る景観を保全し、それらの資源と周辺の緑豊かな環境が一体となった景観づくりを行います。また横浜水道道路の周辺では、一直線に続く遊歩道の景観の特徴に配慮し、遊歩道に面して花壇を設けるなど、遊歩道と一体となった景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

熊野神社／杉山神社／円成寺／横浜水道道路など

■南町田地域の景観要素図（景観計画の策定の過程で行われた「景観市民調査会」の意見や提案等を参考に整理しています。）

